

2021 年度 第 33 回 全道 U-17 フットサル選手権大会 兼 JFA 第 9 回全日本 U-18 フットサル選手権大会 北海道予選 開 催 要 項

2022 年 3 月 23 日更新版（修正箇所を赤字で表示）

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、高校生年代のフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。併せて、JFA 第 9 回 全日本 U-18 フットサル選手権大会の北海道予選を兼ねる。
2. 名 称 2021 年度 第 33 回 全道 U-17 フットサル選手権大会
兼 JFA 第 9 回全日本 U-18 フットサル選手権大会 北海道予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
6. 協 力 株式会社モルテン
7. 期 日 2022 年 4 月 2 日(土) ～ 2022 年 4 月 3 日(日)
8. 会 場 ・札幌市厚別区体育館
札幌市厚別区厚別中央 2 条 5 丁目 1-20 Tel:011-892-0362
・北海道立野幌総合運動公園 総合体育館
江別市西野幌 481 番地 Tel:011-384-2166
9. 参 加 資 格 (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。))に「フットサル 2 種」、または「フットサル 3 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFA に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル 2 種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル 3 種」年代のみとし、「フットサル 2 種」およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降、2009 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。(2) サッカーチームの場合
 - ① JFA に「2 種」、「3 種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFA に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2 種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3 種」年代のみとし、「2 種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降、2008 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
 - ④ 高体連加盟チーム、及び学校教育法第 72 条の特別支援学校、第 115 条の高専、第 124 条の専修学校、第 134 条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規定に準じる。(3) 地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

- (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
- ① フットサルチームの場合 登録料 2,000 円
- ② サッカーチームの場合 登録料 4,000 円
10. 参加チーム及びその数
- (1) 各地区サッカー協会より1チーム。
- (2) 前年度予選参加チーム数上位の札幌地区サッカー協会より1チーム、釧路地区サッカー協会より1チーム、開催地札幌地区サッカー協会より1チーム。
- (3) 各地区の代表チームが参加を辞退した場合、その代表チームの次の順位につけるチームが本大会の参加資格を得るものとする。
- (4) 不参加地区サッカー協会が生じた場合等により、参加チーム数が18チームに満たない場合は、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会が決定する。
11. 大会形式
- (1) 全てノックアウト方式で行う。
- (2) 決勝戦は行わず、準決勝勝利2チームを優勝チームとし、北海道代表とする。北海道第1代表及び第2代表については、2チームの抽選により決定する。
- (3) 3位決定戦は行わず、準決勝敗戦2チームを第3位とする。
なお、優勝チームが新型コロナウイルス感染症等の影響を事由に出場を辞退した場合は、第3位のチームが繰り上げで参加することから、補欠の1チームを抽選で選出する。
12. 競技規則 大会実施年度の「2021/22フットサル競技規則」による。
13. 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。
- (1) ピッチサイズ
・タッチライン : 34m
・ゴールライン : 20m
- (2) 試合球は、モルテン製ヴァンタッジオ フットサル 4000 (F9A4000) 4号ボールとする。
- (3) 競技者の数
・競技者の数 : 5名
・交代要員の数 : 9名以内
・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 : 2名以内
- (4) ベンチに入ることのできる人数は12名以内(交代要員9名、役員3名以内とする。)
- (5) ユニフォーム
- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。
1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

- ⑦ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。
- (6) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない）。なお、チーム役員にも適用する。
- (7) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (8) 試合時間
30 分間(各 15 分からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 10 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始前まで)とする。
- (9) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
① 1 回戦から 3 回戦において勝敗が決定しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。
② 準決勝(代表決定戦)において勝敗が決定しない場合は、10 分間(各 5 分からなる 2 つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。
③ 延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。
④ PK方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
14. 懲 罰 (10) タイムアウトは、全てにおいて適用する。
(1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
(2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
(3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
(4) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
(5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、JFA 第 9 回全日本 U-18 フットサル選手権大会出場チームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
(6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
15. 参 加 料 等 参加料 40,000 円(消費税込)
16. 参 加 申 込 (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
(2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、プライバシーポリシー同意書(Word)、ユニフォームカラー報告用紙(Excel)とともに、期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
(3) 参加料 40,000 円(消費税込)は申込と同時に申込先(C)へ納入すること。
(4) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)に送付すること。なお、2022 年度様式のものを出しすること。
(5) 申込締切:2022 年 3 月 16 日(水) 17 時まで(厳守)
(6) 上記(5)申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則として認めない。ただし、参加申込後、新型コロナウイルス感染防止対策のため職場等から本大会への

参加の自粛を求められた場合は、追加・変更を認める。追加・変更については、所定の用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。

追加・変更の手続きの期限は **2022 年 3 月 28 日(月) 13 時まで**とする。

(ただし、新型コロナウイルス感染症防止対策のための検温を大会 2 週間前から行っていること。)

- (7) チーム役員の転勤や異動の事情により、やむを得ず参加申込内容の変更が必要となった場合も、追加・変更を認める。この場合の追加・変更については、所定の用紙に必要事項を記入し、**2022 年 3 月 31 日(木) 17 時まで**に申込先(C)の札幌地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること。

また、大会当日、所定の届出用紙を持参し、マッチコーディネーションミーティング時に提出すること。

- (8) 2022 年 3 月 16 日(水) 17 時 00 分までに「引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙」を申込先(B)および(C)に E-mail で送付すること。

※チームスタッフ以外の引率者や帯同者(各チーム3名まで)についての申請、ライブ配信についての申請、および被撮影承諾に関する回答を上記の用紙で行う。なお、ライブ配信はチーム関係者への限定配信とすること。

- (9) 申 込 先 (A) 所属地区サッカー協会事務局

(B) (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41

北海道フットボールセンター 内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

・参加申込書(E-mail)

※選手登録番号を必ず記載のこと。

・地区予選結果(E-mail)

・プライバシーポリシー同意書(E-mail)

・親権者同意書(郵送)

・引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙

(C) (一社)札幌地区サッカー協会

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-5

札幌市中島体育センター内

TEL 011-531-7553 FAX 011-531-7553

E-mail : taikai-sfa@sfa-rc.net

・参加申込書(E-mail)

※選手登録番号を必ず記載のこと。

・地区予選結果(E-mail)

・懲罰処分についてのアンケート

・ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)

※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。

・引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙

・参加料 40,000 円(消費税込)

[大会参加料振込口座]

北洋銀行 東屯田支店 普通 3535541

(口座名) 一般社団法人札幌地区サッカー協会

専務理事 今枝映人(イマエダ アキヒト)

17. 組 合 せ 組み合わせは、(公財)北海道サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は(公財)北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。

<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)

18. 帯 同 審 判 本大会においては、帯同審判制をとらないこととする。

19. 監督会議 2022年3月31日(木) 午後7時から(Web会議方式)
会議用URLについては、後日チーム連絡責任者宛に送付する。
20. 開会式 (1) 開会式は実施しない。
21. 表彰及び閉会式 (2) 優勝2チームには表彰状及びトロフィーを、第3位2チームには表彰状を授与する。
(3) 表彰式は、準決勝終了後に、それぞれの試合会場で行う。
閉会式は行わない。
22. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
23. 新型コロナウイルス感染症対策 (1) 本競技会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者及各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
(2) 本競技会において、「会場感染対策担当者」は会場運営責任者が務める。
(3) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
(4) 本競技会は、感染対策のため無観客で実施する。
(5) 本競技会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、関係者は健康チェックシートを試合の都度、会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
(6) 新型コロナウイルス感染症防止対策については、別に定める「競技運営進行・施設利用上の注意点」について、遵守すること。なお、今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。
24. その他 (1) マッチコーディネーションミーティング
① 各試合競技開始時間の40分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、ミーティング室にて行う。
② マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。ただし、3位決定戦及び準決勝においては、JFAマッチコミッショナーが加わり行うこととする。
(ア) 選手証はチェックのため、当日試合会場に持参すること。なお、2回戦以降は、特に指示がない限り選手証の提出は不要。
(イ) FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行なう。
(2) メンバー表は、各試合40分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)のマッチコーディネーションミーティング時に提出すること。
(3) 選手証
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証(2022年度)を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものである。スマートフォンやPC等の画面に表示したものは原則として認めない。

- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより(公財)北海道サッカー協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。
なお、無断欠席の場合は、原則試合出場を認めないものとする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (8) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。
- (9) 優勝(第1代表・第2代表)2チームには、2022年8月4日(木)～7日(日)、三重県／サオリーナで開催されるJFA 第9回全日本 U-18 フットサル選手権大会の参加を義務づける。ただし、優勝(第1代表・第2代表)2チームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合は、第3位の補欠チームを繰り上げて参加することができる。なお、(公財)日本サッカー協会から、チームの交通費、宿泊費の一部が支給される。

以 上